

令和4年度第2回 浦安市児童センター運営懇談会

- 会議資料 別紙参照
- 開催日時 令和5年1月26日(木) 午後6時～7時
- 開催場所 東野児童センター 視聴覚室
- 出席者
 - (委員) 遠山会長(浦安市小中学校校長会)
 - 牧口委員(民間有識者 浦安市歯科医師会)
 - 池島委員(民間有識者 浦安子ども劇場)
 - 田中委員(民間有識者 よみきかせサークル ルフラン)
 - 村林委員(民間有識者 浦安市母子保健推進員)
 - 濱口委員(浦安市民生委員児童委員協議会)
 - 小林委員(浦安市民生委員児童委員協議会)
 - 坂本委員(浦安市青少年相談員連絡協議会)
 - 伊藤委員(浦安市青少年相談員連絡協議会)
 - 永田委員(健康こども部保育幼稚園課主幹)
 - 飯塚委員(健康こども部青少年課長)

 - (事務局) 健康こども部児童センター 齊藤所長
 - 東野児童センター 坂口・井田
 - 高洲児童センター 杉町・松崎

- 開式
 - 会長選出・会長挨拶(遠山会長)
 - 自己紹介(委員・事務局)
 - 議事
 - (1) 令和4年度事業報告
 - (2) 令和4年度事業計画
 - (3) その他
- 閉会

○ 開式 事務局より

本日は委員 12 名のうち、11 名が出席。設置要綱第 7 条第 2 項により会議は成立する。
本会議の変更事項として、今年度、本市の附属機関の設置に関する条例が制定したことで、
当懇談会は、「附属機関に類する会議体」となり、委員を任命する会議体の区分となった。

○ 当懇談会の傍聴希望者なし。

○ 自己紹介

○ 議事

(1) 令和 4 年度 前期事業報告について

両館の活動動画を見ながら説明

健全育成事業について（P 8、9）

①ギネス世界記録からの挑戦状

今年度初めて、東野・高洲両センターで取り組んだ事業。

一般財団児童健全育成推進財団が全国の児童館に募集をかけて開催されたイベントで、上位記録保持者は公式大会に挑むことができ、世界記録を出せばギネスの認定書をもたらうことができる本格的なもの。

②全館イベント秋まつり

遊戯室・・・魚釣り、チューと吸って風船運び、タコたたき、紙コップタワー、
ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい

工作室・・・切り紙

入口ホール・たからつり

まつりは、日常の遊びと違うものを経験できるので、特別感があり期待感を持って来館してくれる。今後も、少しでも多くの方に足を運んでいただけるよう、アイデアを出しながら楽しい企画を考えていきたい。

また、日常では、安心できる場所、居場所として児童センターを利用していただけるよう取り組んでいきたい。

子育て支援事業について（P20）

① 赤ちゃんサロン（定期事業）

生後外に出られるようになってから歩き始めるまでを対象とした事業。

子育て中の保護者の不安や孤独感に寄り添いながら 児童センターでの時間を楽しく過ごすだけでなく、参加をきっかけに同世代の仲間作りができるよう環境づくりにも力を入れている。

月に 1 度 千葉県助産師会協力のもと助産師相談会を行っている。普段利用している場所で気軽に相談できる、と参加者から感想をもらっている。

② よちよちタイム（定期事業）

歩き始めてから2歳の誕生日までを対象とした事業。

今年度は、地域貢献事業の「こんぺいとうサロン」と合同で実施し、部屋の行き来を可能にした。

児童センターは、活動的な遊びと保育士主導の遊びを行っており、子どもが興味のある空間を選んで遊べるよう工夫をし、家庭内では難しい体を使った遊びができることで喜ばれている。

また、市の保健師、歯科衛生士、栄養士を呼んだ相談会を開催し、気軽に相談できる場になっている。

③ 親子で遊ぼう（定期事業）

2歳以上未就学児を対象とした事業。

集団生活のプチ体験的な事業で工作やサーキット遊びなどを行う。工作のドアプレートとカレンダーは人気がある。

集団で遊ぶことで譲ったり譲られたり、順番を待つなどの規範意識の芽生えも期待できる。

④ 泡で遊ぼう

夏の時期に児童センター前のウッドデッキで行った事業。

化粧せっけんを粉にしたものと食紅をビニール袋に入れ水を加え、泡立てたもので遊んだ。子どもだけでなく一緒に参加した保護者も夢中で泡を作って楽しんでいった。

◎質疑応答

会長：事業報告について質問等はないか。

委員：こんぺいとうサロンと同時開催で部屋の行き来ができることはとても良いと思う。

委員：平日の昼間の事業について、働いている家庭は参加しにくい。

また、父親が参加しにくい雰囲気を感じるが、対応策はあるのか。

所長：コロナ前は父親参加の赤ちゃんサロンがあったが、現在は休止している。状況を見ながら早期再開を目指す。また、土曜日に子育て支援事業を行ったところ、参加者全てが保育園に通っている利用者だった。今後もこのような企画は積極的にしていきたい。

(2) 令和4年度事業計画

●東野児童センター事業計画（P22）

資料は、左から子ども健全育成事業、子育て支援事業、地域貢献事業という順番で区分している。上部の定期事業は、毎月または毎日行う。お楽しみ工作は、ほぼ毎日シルバー職員によって行っている。電車遊び・赤サロ・よちよち・のんびりサロン・ひよこタイム・親子の広場ほこほこは、決まった曜日に毎週実施している。今後も継続していく予定。地域貢献事業、ボランティアとして、マミーズという団体を受け入れている。マミーズは後期から月に1度工作を行う。

主な事業をピックアップして紹介する。

健全育成事業

- ・糸と針をつかって

シルバー職員が主体で行う。対象は小学生で、巾着やティッシュカバーなどを手縫いする。家庭科の授業の助けになる事業。

子育て支援事業

- ・リフレクソロジー

赤ちゃんサロンの中で行う。参加者が集まったら、半分に分け、一方が先生からセルフマッサージの指導を受け、もう一方はお子さんとマッサージを受けている親の2人一緒に見るという方法を計画している。

- ・母親ヨガ

参加者のお子さんは保育士が預かり、参加者はお子さんから離れて1時間ほどヨガを行い、リフレッシュしてもらおうという事業である。託児のお試しができるということで人気がある。託児への罪悪感や抵抗感を緩和するという意味合いでこの事業は効果があると考えている。

地域貢献事業

- ・おもちゃの病院

児童センター利用者以外も利用可。お気に入りのおもちゃを長く大切に使うことを認識してもらう事業。

●高洲児童センター事業計画（P23）

健全育成事業

- ・初詣ごっこ

お参りやおみくじを引いた後、手作りのお守りを振舞った。今回おみくじ等を用意しているのでは是非、体験していただきたい。また、浦安行政情報番組「こちらうらやす情報局」の取材があり、先日放送されて現在はYouTubeで公開している。

- ・裁縫教室

東野児童センターの「糸と針を使って」と同様の事業。高洲児童センターでは初めての取り組みで、小学5年生以上を対象に、手袋を使ったウサギのぬいぐるみ作りに挑戦する。

- ・親子で過ごすエスレの時

高洲児童センターは複合施設の中にあるので公民館との共催事業ある。今回は、2歳児親子を対象に、①親子ヨガ、②子供の運動能力の講演会、③親子で工作の全3回シリーズで開催する。児童センターは各回の子どもの触れ合いと工作の回を担当する。

子育て支援事業

- ・ママのお助け講習会

初の試みである。赤ちゃんサロンの中で、お母さん方が自分自身のことを後回しにしている様子が伺えたことで企画した事業。足つぼの先生を招き、セルフケアのヒントになるような実技を交えた講習会とした。

今後も利用者の様子やリクエストに応えながら、心休まる楽しい場所であるように職員一同邁進していく。

◎質疑応答

会長：事業計画について質問はないか。

委員：現在、高洲小学校の5・6年生の家庭科の授業でミシンの手伝いボランティアに行っているのですが、子どもたちの様子と情報を共有したい。

5・6年生はとても一生懸命に授業を受け、手縫いを含め、ミシンもとても楽しみながら学習している状況。

高洲北小学校の状況は把握ができていないが、需要があればお手伝いに行きたいという声も上がっている。裁縫に関して意識が高められる活動はうれしい。

委員：各児童センターの活動は素晴らしい。学校になじめないお子さんが、児童センターには通えているというような案件もある。そういった子の行き場所となっていることを実感した。民生委員の活動の中で、母親に対するフォローの活動も大変多く、今後児童センターを案内し、つながりができるとよいと考えている。また、定例会や地区長会議のほうで児童センターの活動を共有して、ひろげていきたい。

委員：館内の掲示について質問したい。「写真ビデオ撮影はご遠慮ください」という掲示の真意と開始時期について聞きたい。この掲示や取り組みについては賛同しているが、撮影可能な場所や事業はあるのか。

所長：着任した時には既にあった。子どもの安全面とプライバシー保護の観点から今後も継続していく。撮影可能な場所を設け、季節に応じた背景を準備している。

会長：児童たちの声を紹介したい。

- ・幼稚園の頃は児童センターによく通っていたが、小学生になってからはあまり行ってない。

- ・中学年児童は、東野の友達と一緒に遊ぼうと声をかけられて児童センターで遊んだ。
- ・高学年児童は、児童センターは夏休みに宿題の場所として利用してとてもよかった。
- ・卓球ができる。

今後も、児童センターから学校へ各種情報を発信することで、その情報は各学級から児童同士へと拡散され、児童センターの稼働率も上がるのではないかと思う。

議事終了

(3) その他

事務局：今年度の会議は今回で最後となる。来年度については、1回目の会議を7月に予定している。

○ 閉会